SONY®

3-223-660-**04**(1)

TV(1-12ch)/FMステレオ/AM PLLシンセサイザーラジオ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SRF-G8V

⚠危険 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

⬇

安全のための注意事項を守る

2〜7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

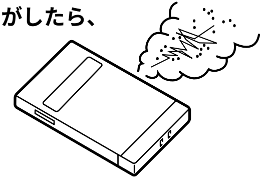
1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



❶ 電源を切る
❷ ACパワーアダプターで充電中の場合は、コンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電


破裂

行為を禁止する記号


接触禁止


禁止


分解禁止


ぬれ手禁止

行為を指示する記号


プラグをコンセントから抜く

⚠危険

火災　破裂

この製品はニッケル水素充電式電池を内蔵しています。
漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、必ず下記の注意事項をお守りください。

指定以外のACパワーアダプターを使わない

充電するときおよび家庭用電源で使用するときは、必ず指定のACアダプターを使用してください。
破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

禁止

火の中に入れない

禁止

分解しない

感電の原因となります。充電池の交換、内部の点検および修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止



火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない

禁止

充電スタンドのポケットにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を入れない。

充電スタンドの端子が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

禁止

⚠警告

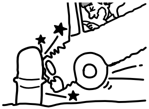


下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分にご注意ください。

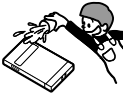
禁止



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

禁止



海外で使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

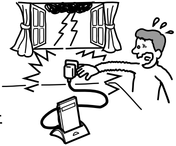
強制



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止



⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない

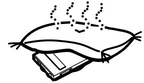
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。


禁止

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。


禁止



長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。


プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。


プラグをコンセントから抜く

目次

主な特長

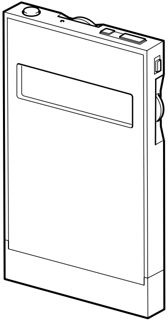
- 日本全国のTV、FM、AM合わせて240局の放送局名や周波数、現時刻を読み上げ、同時に放送局名を液晶に表示します。
  —放送局名／周波数／現時刻音声読み上げ機能・放送局名表示機能
- 専用の充電スタンド（付属）に置くだけで、手軽に充電できます。
  —ニッケル水素充電池採用
- 巻き取りイヤーレシーバー搭載ラジオとして、または薄型ラジオとして、お好みに合わせたスタイルで使用できます。
  —着脱式巻き取りイヤーレシーバーカートリッジ搭載
- 薄型ながら頑丈な外装を実現したマグネシウム合金ボディ採用
- **バンド切り換えやモード設定が指1本でできるジョグレバー搭載**
- 日本全国の放送局を簡単に選局することができます。
  —スーパーエリアコール機能
- TV、FM、AM合わせて15局の放送局を記憶させることができます。
  —マイメモリー機能
- 希望の時刻にブザーを鳴らすことができます。
  —アラーム機能・タイマー機能
- 電車内など、雑音が気になるときに雑音を低減して放送を聞きやすくする回路を搭載しています。
  —ノイズカット機能
- 節電のため自動的に電源を切ることができます（時間設定が可能）。
  —パワーオートオフ機能

▶準備する

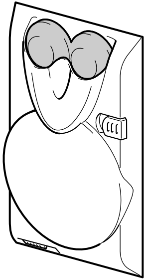
付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか
確認してください。

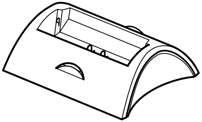
- ラジオ本体（1）



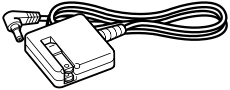
- イヤーレシーバーカートリッジ（1）



- 充電スタンド（1）



- ACパワーアダプター（1）



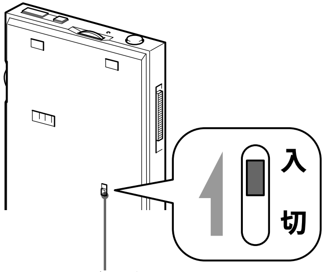
- キャリングケース（1）
  （ラジオ本体にイヤーレシーバーカートリッジ装着時用）
- 取扱説明書（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- 周波数一覧表（1）

主電源を入れる

お買い上げ時は、ラジオ本体裏の主電源スイッチが「入」になっています。充電する前に主電源スイッチが「入」になっているか確認してください。

主電源スイッチを「入」にする

先の細いもので主電源スイッチを動かしてください。



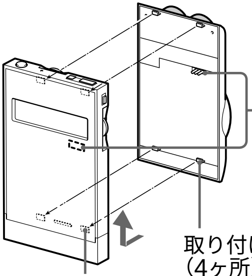
主電源スイッチ

ご注意

長い間ご使用にならない場合や不具合が生じた場合は、主電源スイッチを先の細いもので「切」にしてください。時計や記憶させた周波数などはお買い上げ時の設定に戻ります。
再度ご使用になるときは、主電源スイッチを「入」にしてください。

イヤーレシーバーカートリッジを取り付ける

イヤーレシーバーカートリッジ取り付け面にある4ヶ所の取り付け用ツメを、ラジオ本体裏側にある4ヶ所の取り付け穴に引っかけます。カチッと音がするまで、カートリッジを矢印の方向にずらして取り付けてください。

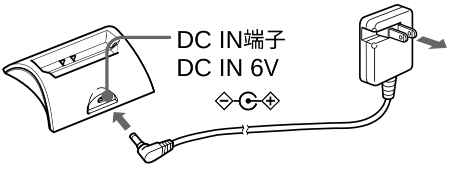


しばらくご使用になっていなかった場合には、接続端子を綿棒や柔らかい布などできれいにしてからご使用ください。

充電式電池を充電する

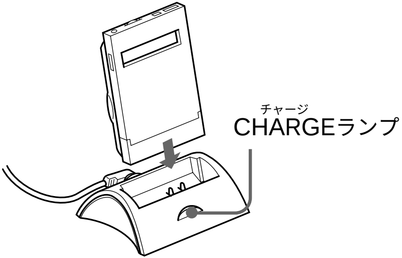
充電する前に、ラジオ本体の主電源スイッチが必ず「入」になっていることを確認してください(12ページ参照)。

1 充電スタンドのDC IN**端子に**AC**パワーアダプターをしっかりつなぎ、プラグをコンセントにしっかり差し込む。**

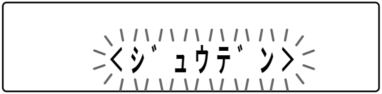


次ページへつづく

2 ラジオ本体を充電スタンドにのせ、ロックされるところまで押し込む。



充電スタンドのCHARGEランプが赤色に点灯し、充電が始まります。充電が始まると、ラジオ本体の表示窓に「〈ジュウデン〉」が約10秒間表示されます。



タイマー充電方式のため、充電スタンドにのせた時点から充電が完了するまで（CHARGEランプが消えるまで）約6時間かかります。

1度充電スタンドから本体を抜いてもう1度のせた場合はのせた時から約6時間かかります。

ご注意

充電中はラジオを聞くことはできません。ラジオを聞く場合は、充電スタンドからはずしてご使用ください。

- 充電は周囲の温度が0〜35℃の環境で行ってください。
- 充電時は、ラジオ本体を正しい向きで充電スタンドにのせてください。イヤーレシーバーカートリッジがついていても充電できます。
- 充電開始時、充電スタンドのCHARGEランプが点灯していることを確認してください。

電池の持続時間

JEITA*

放送の種類	持続時間
TV放送	約14時間
FM放送	約14時間
AM放送	約20時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池寿命は、使用する機器の状況により変動する可能性があります。

約6時間充電したときの持続時間です。電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

電池の残量がなくなってくると、表示窓でお知らせします。

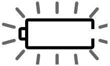
残量表示


残量は充分です。

↓


残量が少なくなってきました。

↓


電池が消耗しています。電池を充電してください。

ご注意

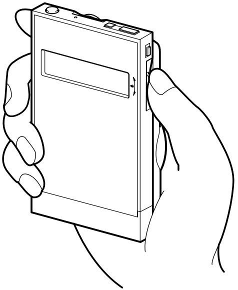
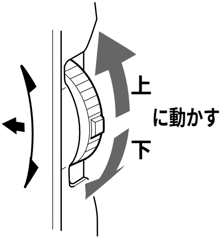
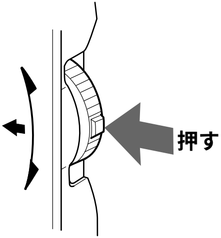
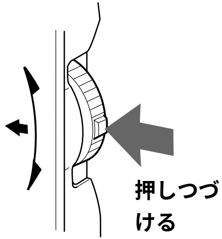
- 100%充電されていない場合でも、残量表示がすべて点灯することがあります。
- 「」と同時に「デンチ ギレ」が点滅します。
- 充電終了後、ラジオ本体を充電スタンドから取りはずすと時計表示に戻ります。
- 充電スタンドのCHARGEランプが消える前にラジオ本体をはずすと、持続時間が短くなります。
- はじめて充電するときや、長時間使用しなかった後では、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か放電を繰り返すと通常の状態に戻ります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。

パワーオートオフ機能について

ラジオの電源の消し忘れによる電池のむだな消耗を防ぐため、設定した時間で自動的に電源が切れるようになっています（お買い上げ時は90分に設定されています）。詳しくは46ページをご覧ください。

ジョグレバーの使いかた

ジョグレバーは「上下に動かす／押す／押しつづける」の操作で、バンド切り換え、時計合わせや選局、設定などができます。各設定を行う場合は、設定ボタンを押して設定モードにしてから操作します。

<table>
<tr><th>持ちかたの例</th><th colspan="3">操作</th></tr>
<tr>
<td></td>
<td>動かす＝設定モードや、周波数を選びます。

</td>
<td>押す＝バンドの切り換えや、表示された機能を決定します。

</td>
<td>押しつづける＝マイメモリーに周波数を記憶させます。

</td>
</tr>
</table>

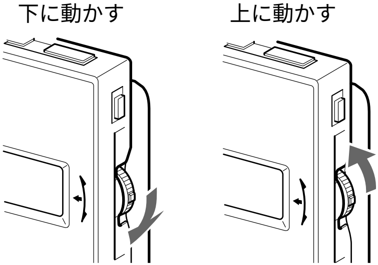
操作の例：ラジオを聞く(マニュアル選局)

各操作については、それぞれのページをお読みのうえご使用ください。

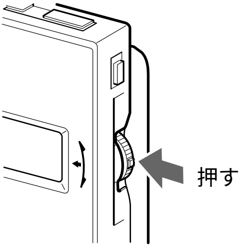
1　電源ボタンを押して、ラジオの電源を入れる。

2　設定ボタンを押す。

3　ジョグレバーを動かして「センキョクモード」を選ぶ



4　ジョグレバーを押す。



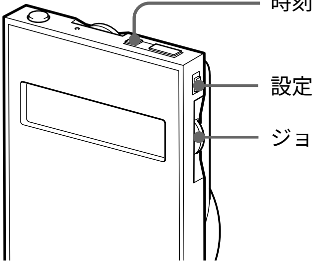
5　ジョグレバーを動かして「マニュアル」を選び、ジョグレバーを押す。

6　ジョグレバーを押して、バンドを選ぶ。

7　ジョグレバーを動かして、聞きたい放送局を受信する。

下に動かすと数字が増え、上に動かすと減ります。動かしたままにすると速く変わります。

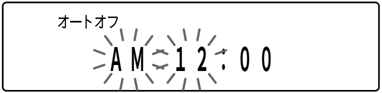
時計を合わせる・時刻を確認する



1 **設定ボタンを押す。**



2 **ジョグレバーを動かして「ジコクセッテイ」を選び、ジョグレバーを押す。**

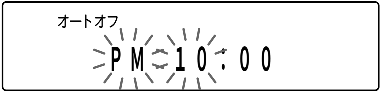


3 **ジョグレバーを動かして時を合わせ、ジョグレバーを押す。**

AMは午前、PMは午後です。

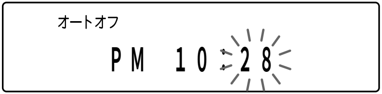
AM12:00 ＝ 真夜中

PM12:00 ＝ 正午



4 手順3と同様に分を合わせ、ジョグレバーを押す。

表示窓の「：」が点滅を始め、時計が動き出します。しばらくすると、設定ボタンを押す前の表示に戻ります。



時報（電話117番など）と同時にジョグレバーを押すと、より正確な時刻が設定できます。

ご注意

設定ボタンを押してから約60秒以上操作を行わないと、自動的に設定メニューに入る前の状態に戻ります。設定を途中でやめたいときには、もう1度設定ボタンを押します。

時刻を確認するには

受信中に時刻を確認するには、時刻ボタンを押します。数秒間時刻が表示された後、元の表示に戻ります。
時計を合わせていない状態では「ジコクミセッテイ」が表示され、元の表示に戻ります。
音声読み上げ機能を「オン」にしておくと、音声でも時刻をお知らせします。読み上げ音声の音量は一定です。詳しくは20ページを参照してください。

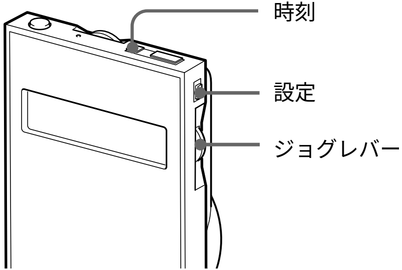
放送局や時刻を音声で確認する

—音声読み上げ機能

選局した放送局名（または周波数）と現時刻を音声で確認できます。

- 局名読み上げ
  選局時に選局された放送局名、または周波数を読み上げます。
- 時刻読み上げ
  時刻ボタンを押すと、現時刻を読み上げます。

お買い上げ時は、局名、時刻読み上げとも「オン」になっています。どちらかのみを「オン」にして働かせることもできます。
読み上げ音声の音量は一定です。



ご注意

「オン」「オフ」の設定を変更するときは、どちらかの設定内容が同じでも、必ず最後まで行ってください。途中で設定ボタンを押して操作を終了すると、「オン」「オフ」の設定は変更されません。

1 **設定ボタンを押す。**

2 **ジョグレバーを動かして「オンセイヨミアゲ」を選び、ジョグレバーを押す。**

オートオフ
ｵﾝｾｲﾖﾐｱｹﾞ

3 **「キョクメイヨミアゲ」（局名読み上げ）が表示され、「オン オフ」画面に切り換わったら、ジョグレバーを動かして「オン」（解除したいときは「オフ」）を選びジョグレバーを押す。**

オートオフ
ｷｮｸﾒｲﾖﾐｱｹﾞ

↓

オートオフ
》ｵﾝ　　ｵﾌ

4 **「ジコクヨミアゲ」（時刻読み上げ）が表示され、「オン オフ」画面に切り換わったら、ジョグレバーを動かして「オン」（解除したいときは「オフ」）を選びジョグレバーを押す。**

オートオフ
ｼﾞｺｸﾖﾐｱｹﾞ

↓

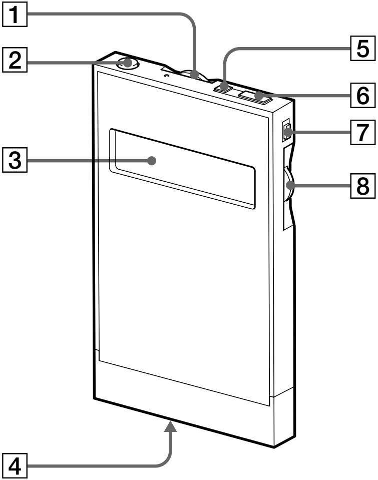
オートオフ
》ｵﾝ　　ｵﾌ

設定が終了し、電源を切っているときは時刻表示、電源を入れているときは受信していた周波数表示に切り換わります。

▶各部のなまえとはたらき

各部のなまえ

ラジオ本体表面



1 **音量**

2 **∩（ステレオイヤーレシーバー）端子**
（29ページ）
別売りのステレオイヤーレシーバーをつないで聞くことができます。(Φ3.5 mm ステレオイヤーレシーバー)

3 **表示窓**（24ページ）

4 **充電スタンド接続端子**

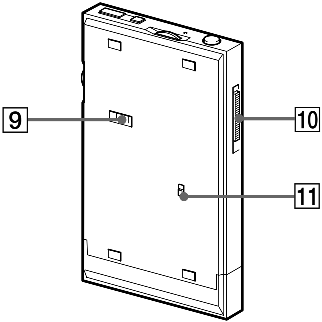
5 **時刻**

6 **電源**

7 **設定**

8 **ジョグレバー（決定／バンド）**
（16ページ）

ラジオ本体裏面

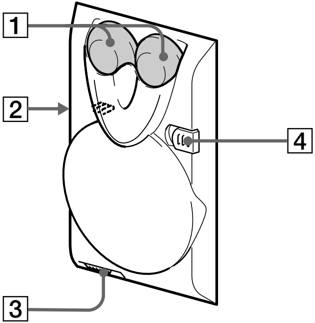


9 **イヤーレシーバーカートリッジ接続端子**
10 **ホールド**（29ページ）
11 **主電源**

入：充電する前に「入」にしてください。通常はこの位置に合わせておきます。

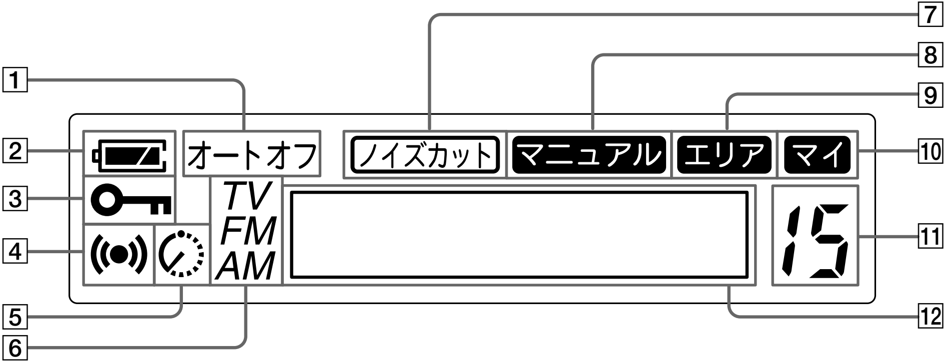
切：長い間ご使用にならないときや不具合が生じたときは、「切」にしてください。
時計や記憶させた周波数などはお買い上げ時の設定に戻ります。

イヤーレシーバーカートリッジ



1 **巻き取りステレオイヤーレシーバー**（27ページ）
2 **イヤーレシーバーカートリッジ接続端子**
3 **イヤーレシーバーカートリッジ取りはずし**（29ページ）
4 **巻き取り**（28ページ）

表示窓



1 **オートオフ表示**（46ページ）

パワーオートオフ機能が設定されているときに表示されます。

2 **電池残量表示**（15ページ）

電池の残量が表示されます。

3 **ホールド表示**（29ページ）

ホールド機能が働いているときに表示されます。

4 **アラーム表示**（42ページ）

アラームが設定されているときに表示されます。

5 **タイマー表示**（44ページ）

タイマーが設定されているときに表示されます。

6 TV・FM・AM**バンド表示**

7 **ノイズカット表示**（40ページ）

ノイズカット機能が働いているときに表示されます。

8 **マニュアル表示**（30ページ）

マニュアル選局モードで受信しているときに表示されます。

9 **エリア表示**（30ページ）

スーパーエリアコール選局モードで受信しているときに表示されます。

10 **マイ表示**（30ページ）

マイメモリー選局モードで受信しているときに表示されます。

11 **プリセット番号表示**（37ページ）

マイメモリー選局で受信しているときは、選択されているプリセット番号が表示されます。

12 **ラジオ周波数（放送局名）／時刻／文字表示**

設定モード一覧

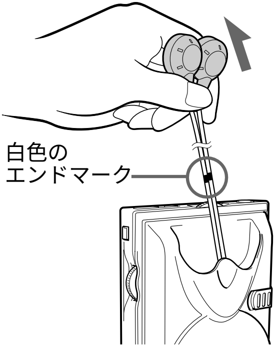
モード名（参照ページ）	機能	電源
時刻設定（18）	時刻を合わせる	入・切時設定可能
アラーム設定（42）	設定した時刻にブザーを鳴らす	
タイマー設定（44）	設定時間後にブザーを鳴らす	
オートオフ設定（46）	自動的に電源を切る （120・90・60・30・カイジョ）	
音声読み上げ設定（20）	周波数（放送局名）や時刻を読み上げる	
選局モード（エリア／マイ／マニュアル）設定（31・36・39）	エリア：　スーパーエリアコール選局で選局した放送局を聞く マイ：　マイメモリー選局で記憶させた放送局を聞く マニュアル：マニュアル選局で選局した放送局を聞く	入時のみ設定可能
エリア設定（32）	ラジオを使う地域を選ぶ	
サテライト設定（34）	サテライト局を選ぶ	
ノイズカット設定（40）	雑音を低減して放送を聞きやすくする	
ステレオ／モノラル設定（41）	ステレオ放送を受信しているときの音声を、ステレオまたはモノラルに切り換える	

ステレオイヤーレシーバーを使う

巻き取りステレオイヤーレシーバーを引き出す

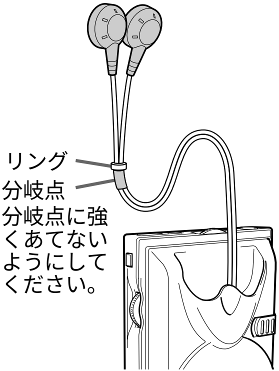
1 コードを持って引き出す。

イヤーピース(耳に入れる部分)を強く押さえずに、コードを持ってください。



2 リングを引き下げる。

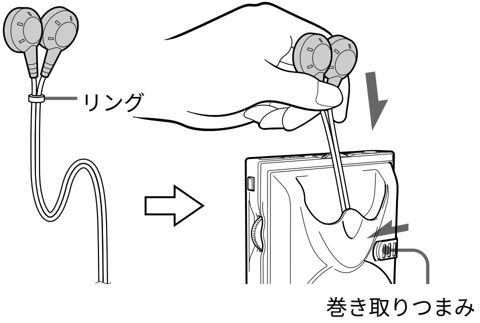
コードの分岐点まで引き下げます。
分岐点にリングが強くあたると分岐点が動き、コードが広がることがあります。
軽く下げてください。



巻き取る

1 リングをイヤーピースの根元まで引き上げる。
コード巻き取り時、コードがからむのを防ぎます。

2 ステレオイヤーレシーバーのコードを持ちながら巻き取りつまみを矢印の方向にずらす。
イヤーピースが収納部に納まるまで手を添えてください。



コードが途中で止まってしまったときは

コードを10cmほど引き出して、もう1度巻き取りつまみを左にずらしてください。
リングをイヤーピースの根元まで引き上げていないと、コードが途中で止まることがあります。必ず根元まで引き上げてください。

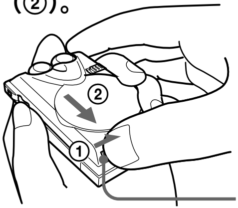
ご注意

- イヤーピースを持ったまま引き出すと、故障の原因となります。
- コードは、白色のエンドマークが見えたら、それ以上無理に引っ張らないでください。
- ステレオイヤーレシーバーを耳につけたまま巻き取らないでください。コードが顔に強く当たることがあります。
- 放送を聞きながらコードを引き出したり巻き取ったりすると、雑音が聞こえる場合があります。
- 手を添えないでいきおいよく巻き取ると故障の原因になります。

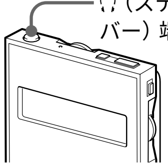
別売りのイヤーレシーバーを使う

別売りのステレオイヤーレシーバーをつなぎ、ラジオ本体のみで使うことができます。

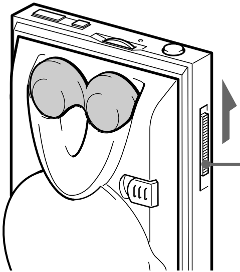
1 取りはずしつまみを右にずらしたまま（①）、イヤーレシーバーカートリッジを矢印の方向にずらしてはずす（②）。



2 別売りのステレオイヤーレシーバーを🎧（ステレオイヤーレシーバー）端子につなぐ。



誤操作を防ぐ —ホールド機能



ホールドスイッチを矢印の方向にずらすと、表示窓に「⊶」が点灯し、すべてのボタン操作を受け付けなくなります。

不用意に電源が入ったり、受信局が切り換わるなどの誤操作を防ぐことができます。

選局方法について

選局方法には3種類あります。
スーパーエリアコール選局、マイメモリー選局、マニュアル選局のいずれかで受信します。

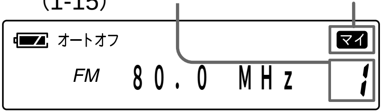
スーパーエリアコール選局

本機には、あらかじめ全国の主な放送局とサテライト局が地域別に記憶されています。
ラジオをお使いの地域で地域番号を設定しておくと、ジョグレバーを押して聞きたい放送局を簡単に選局できます(31ページ参照)。



マイメモリー選局

自分でいつも聞く放送局を記憶させることができます。
ジョグレバーを押して、聞きたい放送局を受信します(36ページ参照)。
放送局はあらかじめプリセット番号(1-15)に記憶されています。



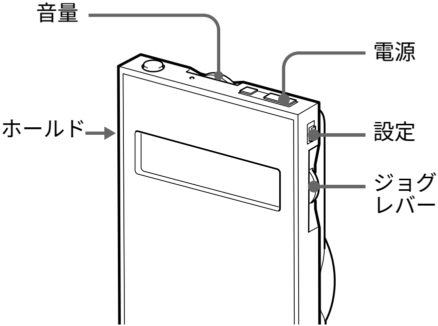
マニュアル選局

ジョグレバーを動かして、ラジオの周波数を変え、聞きたい放送局の周波数に合わせます(39ページ参照)。



現在いる地域の放送を聞く—スーパーエリアコール選局

ラジオをお使いの地域で地域番号を設定しておくと、ジョグレバーを押すだけで、その地域の放送局を簡単に選局できます。



地域区分

	地域名	地域
1	**北海道**	北海道
2	**東北**1	青森　秋田　岩手
3	**東北**2	宮城　山形　福島
4	**関東**1	千葉　埼玉　東京　神奈川
5	**関東**2	茨城　群馬　栃木
6	**中部**	山梨　静岡　長野
7	**東海**	愛知　岐阜　三重
8	**北陸**	新潟　富山　石川　福井
9	**近畿**1	大阪　京都　兵庫
10	**近畿**2	滋賀　奈良　和歌山
11	**中国**	鳥取　島根　岡山　広島　山口
12	**四国**	徳島　香川　愛媛　高知
13	**九州**1	福岡　佐賀　長崎　大分
14	**九州**2	熊本　宮崎　鹿児島　沖縄
15	JR	

- JRは新幹線で使うときに選びます。
  東海道、山陽新幹線の車両に限ります。
  グリーン車内ではご使用になれません。

次ページへつづく

1 電源ボタンを押してラジオの電源を入れる。

表示窓に「⊶」が表示されている場合は、ホールド機能（29ページ）を解除してください。

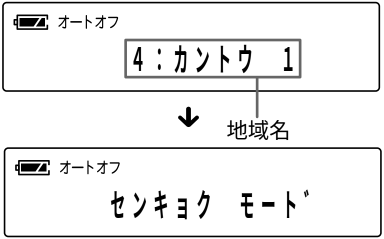
2 設定ボタンを押す。

3 ジョグレバーを動かして「エリアセッテイ」を選び、ジョグレバーを押す。

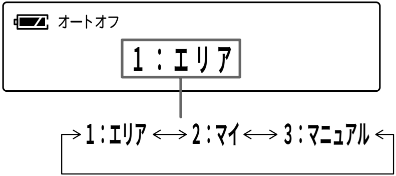


4 ジョグレバーを動かして地域を選び、ジョグレバーを押す。

ジョグレバーを押すと、「センキョクモード」表示に変わり、数秒で「エリア」表示に変わります。

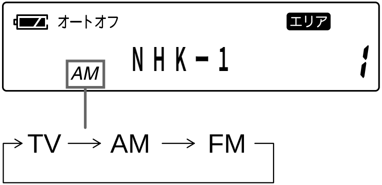


5 ジョグレバーを動かして「エリア」を選び、ジョグレバーを押す。



6 ジョグレバーを押してバンドを選ぶ。

押すたびにバンド表示が変わります。



ジョグレバーを2秒以上押していると、マイメモリー登録モードになってしまうのでご注意ください（36ページ参照）。

7 ジョグレバーを動かして、聞きたい放送局を選ぶ。

放送局は最初に周波数表示をした後に放送局名が表示されます。
放送局はあらかじめ記憶されています。詳しくは「周波数一覧表」をご覧ください。

8 音量つまみで音量を調節する。

1度スーパーエリアコール選局をすれば

選局モードを「エリア」にし、ジョグレバーを動かすだけで選局できます。

1 電源を入れる。

表示窓に「o━」が表示されている場合は、ホールド機能（29ページ）を解除してください。

2 設定ボタンを押す。

3 ジョグレバーを動かして「センキョク モード」を選び、ジョグレバーを押す。



次ページへつづく

4 **ジョグレバーを動かして「エリア」を選び、ジョグレバーを押す。**



5 **ジョグレバーを動かして、聞きたい放送局を選ぶ。**

スーパーエリアコール選局ではよく聞こえないときは

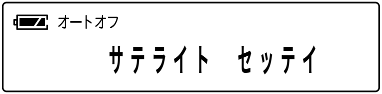
サテライト局を選ぶことができます。
サテライト局とは、お聞きになっている地域で同じ内容を放送している局です。地域によっては、一部放送内容が異なる場合があります。

1 **電源を入れる。**
表示窓に「⊶」が表示されている場合は、ホールド機能（29ページ）を解除してください。

2 **ジョグレバーを動かして周波数を変えたい局を選ぶ。**

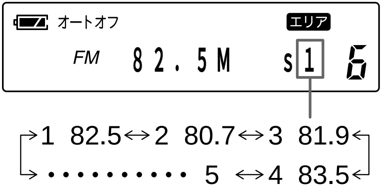
3 **設定ボタンを押す。**

4 ジョグレバーを動かして「サテライト セッテイ」を選び、ジョグレバーを押す。



5 ジョグレバーを動かして、よく聞こえる周波数が表示されたらジョグレバーを押す。

例）関東1／NHK FMの場合



サテライト局を変更する

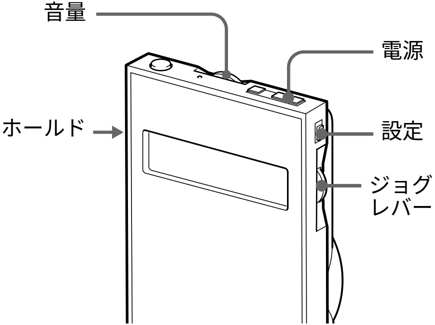
手順2からやり直してください。

ご注意

- 放送局の中にはサテライト局を持たない局もあります。その場合、ジョグレバーを操作しても周波数は変わりません。
- マイメモリー選局やマニュアル選局ではこの機能は働きません。
- ラジオの電源が切れているときは、地域を切り換えられません。
- ラジオをお使いの地域以外の地域を選んでも、放送局を受信できることがあります。

いつも聞く放送局を記憶させて聞く
—マイメモリー選局

いつも聞く放送局をTV、FM、AM合わせて15局まで記憶させることができます。聞くときは、ジョグレバーを動かすだけで受信できます。



放送局を記憶させる

1 電源を入れる。
表示窓に「○━」が表示されている場合は、ホールド機能(29ページ)を解除してください。

2 記憶させる放送局を受信する。
スーパーエリアコール選局（31ページ）またはマニュアル選局（39ページ）で放送局を選びます。



3 ジョグレバーを「ピピッ」と音がするまで2秒以上押しつづける。

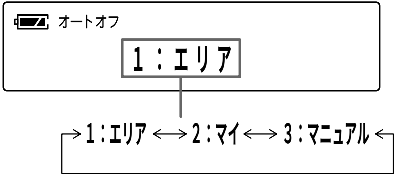


4 ジョグレバーを動かして登録したいプリセット番号（1–15）を選び、ジョグレバーを押す。
ジョグレバーを押すと、「センキョクモード」表示に変わります。





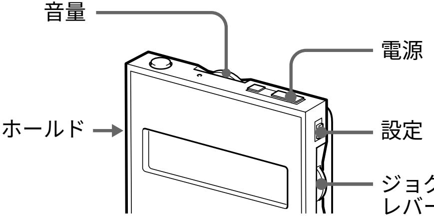
5 ジョグレバーを動かして「エリア」、「マイ」または「マニュアル」を選び、ジョグレバーを押す。



記憶させた放送局を変更する

手順2からやり直してください。
前に記憶させた放送局は消えます。

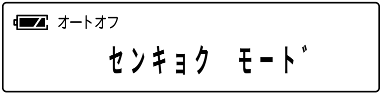
記憶させた局を聞く



1 電源を入れる。

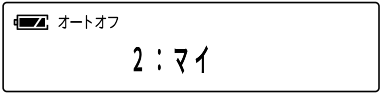
2 設定ボタンを押す。

3 ジョグレバーを動かして「センキョクモード」を選び、ジョグレバーを押す。



次ページへつづく

4 ジョグレバーを動かして「マイ」を選び、ジョグレバーを押す。



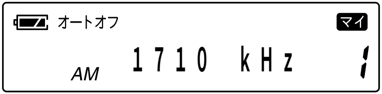
5 ジョグレバーを動かして聞きたい放送局を選ぶ。

6 音量つまみで音量を調節する。

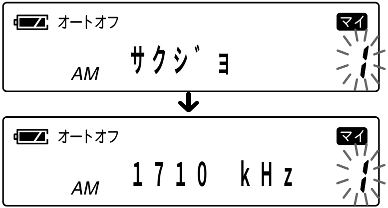
記憶させている局を削除する

1 「記憶させた局を聞く」の手順1〜4を行う。

2 ジョグレバーを動かして削除したいメモリーを選ぶ。



3 設定ボタンを「ピピッ」と音がするまで3秒以上押したままにする。

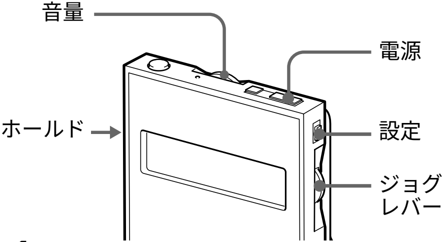


4 ジョグレバーを押す。

ジョグレバーを押すとそのプリセット番号が削除され、1つ前のプリセット番号(入っていなければ、さらに前)を受信します。

周波数を選んで聞く

—マニュアル選局



1 電源を入れる。

表示窓に「o━」が表示されている場合は、ホールド機能（29ページ）を解除してください。

2 設定ボタンを押す。

3 ジョグレバーを動かして「センキョクモード」を選び、ジョグレバーを押す。

オートオフ

センキョク　モード

4 ジョグレバーを動かして「マニュアル」を選び、ジョグレバーを押す。

オートオフ

3：マニュアル

5 ジョグレバーを押して、バンドを選ぶ。

6 ジョグレバーを動かして、聞きたい放送局に合わせる。

ジョグレバーを1回動かすごとに周波数が変わります（FMでは0.1MHz、AMでは9kHz、TVでは1チャンネルずつ）。放送局の周波数が合うと放送が聞こえます。

オートオフ　マニュアル

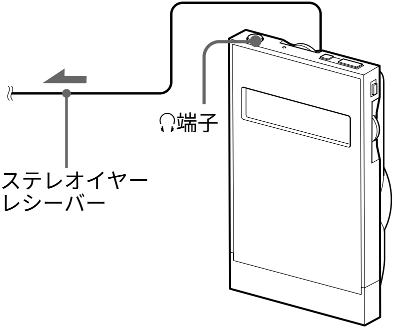
FM　82.8 MHz

7 音量つまみで音量を調節する。

受信状態をよくする

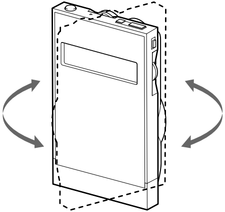
TV/FM放送の場合

使用する内蔵ステレオイヤーレシーバー、または別売りのステレオイヤーレシーバーのコードがアンテナとして働きます。



AM放送の場合

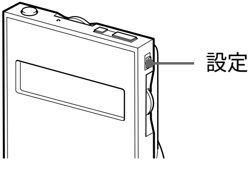
AMアンテナは内蔵されているので、ラジオ本体の向きによって受信状態が変わります。もっともよく受信できる向きにしてお聞きください。



電波が弱く、雑音が気になるときは

ノイズカット設定を「オン」にしてください。

1 設定ボタンを押す。



2 ジョグレバーを動かして「ノイズカット」を選び、ジョグレバーを押す。

オートオフ
ノイズ゛カット

3 ジョグレバーを動かして「オン」を選び、ジョグレバーを押す。

オートオフ
》オン　オフ

表示窓に ノイズカット が表示され、受信していた表示に戻ります。

ノイズカットを解除する

手順3で「オフ」を選びます。表示窓の ノイズカット が消えます。

ステレオ放送で雑音が多いときは

ステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。その場合はステレオ／モノラル設定を「モノラル」にしてください。音はモノラルになります。

1 設定ボタンを押す。

2 ジョグレバーを動かして「ステレオ／モノラル」を選び、ジョグレバーを押す。

オートオフ
ステレオ/モノラル

3 ジョグレバーを動かして「モノラル」を選び、ジョグレバーを押す。

お買い上げ時は、「ステレオ」に設定されています。

オートオフ
ステレオ》モノラル

設定後、受信していた表示に戻ります。

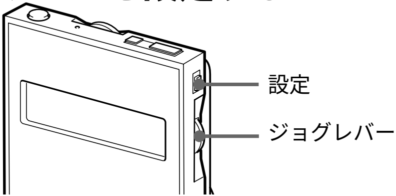
▶タイマー機能を使う

希望の時刻にブザーを鳴らす

—アラーム機能・タイマー機能

ラジオの電源の入切にかかわらず、希望の時刻にブザーを鳴らすことができます。
時刻の設定には2通りの方法があります。
•アラーム ： 何時何分と時刻を設定する
•タイマー ： 1分後から180分後(3時間後)まで、1分刻みで設定する
アラーム、タイマーの設定は時計を合わせてから行ってください(18ページ)。

アラームを設定する



1 設定ボタンを押す。

2 ジョグレバーを動かして「アラーム セッテイ」を選び、ジョグレバーを押す。



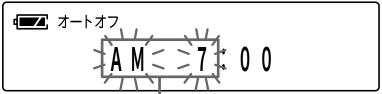
「ジコクミセッテイ」が表示されたら、時計が合わせられていません。時計を合わせてからアラームを設定してください。

3 ジョグレバーを動かして「オン」を選び、ジョグレバーを押す。



4　ジョグレバーを動かしてブザーを鳴らす時に合わせ、ジョグレバーを押す。

例）午前7時に鳴らすとき



アラーム設定をしている間点滅

5　手順4と同様に分を合わせ、ジョグレバーを押す。

電源を切っているときに設定すると、時刻が表示されます。

電源を入れているときに設定すると、受信していた表示に戻ります。

表示窓に「((•))」が表示され、設定した時刻になるとブザーが鳴ります*。

ラジオを聞いているときは放送の音声が止まります。ブザーが止まると再び放送の音声に戻ります。

*音声読み上げ設定の時刻読み上げが「オン」に設定されているときは、ブザーが鳴り、現時刻を読み上げます。
時刻読み上げが「オフ」に設定されているときは、ブザーのみが鳴ります。

ブザーを止める

どのボタンを押しても止まります。ホールド機能を働かせていてもブザーは止まります。止めない場合は約3分間鳴り続けます。

アラームを解除する

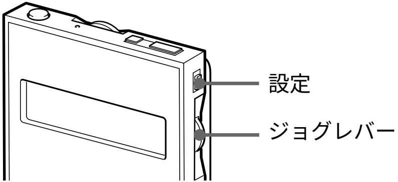
手順3で「オフ」を選びます。
表示窓の「((•))」が消えます。

次ページへつづく

ご注意

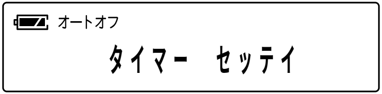
- 時計を合わせていない（「AM 12:00」が点滅している）状態ではアラームを設定できません。「ジコクミセッテイ」が表示され、元の表示に戻ります。時計を合わせてからアラームを設定してください。
- アラームの設定後にホールド機能を働かせてもブザーは鳴ります。
- 設定ボタンを押してから約60秒以上操作を行わないと、自動的に設定メニューに入る前の状態に戻ります。設定を途中でやめたいときには、もう1度設定ボタンを押します。
- ブザーの音量と読み上げ音声の音量は一定です。

タイマーを設定する



1 **設定ボタンを押す。**

2 **ジョグレバーを動かして「タイマーセッテイ」を選び、ジョグレバーを押す。**



「ジコクミセッテイ」が表示されたら、時計が合わせられていません。時計を合わせてからタイマーを設定してください。

3 **ジョグレバーを動かして「オン」を選び、ジョグレバーを押す。**



4 ジョグレバーを動かして何分後にブザーを鳴らすかを選び、ジョグレバーを押す。

1分後から180分後（3時間後）まで1分刻みで設定できます。

例）30分後に鳴らすとき



タイマー設定をしている間点滅

表示窓に「 」が表示され、設定した時間が経過するとブザーが鳴ります*。
ラジオを聞いているときは放送の音声が止まります。ブザーが止まると再び放送の音声に戻ります。

*音声読み上げ設定の時刻読み上げが「オン」に設定されているときは、ブザーが鳴り、現時刻を読み上げます。
時刻読み上げが「オフ」に設定されているときは、ブザーのみ鳴ります。

ブザーを止める

どのボタンを押しても止まります。ホールド機能を働かせていてもブザーは止まります。
止めない場合は約3分間鳴り続けます。
ブザーを止めるとタイマーは解除されます。

タイマーを解除する

手順3 で「オフ」を選びます。
表示窓の「 」が消えます。

ご注意

- 時計を合わせていない（「AM12:00」が点滅している）状態では、タイマーを設定できません。「ジコクミセッテイ」が表示され、元の表示に戻ります。時計を合わせてからタイマーを設定してください。
- タイマーの設定後にホールド機能を働かせてもブザーは鳴ります。
- 設定ボタンを押してから約60秒以上操作を行わないと、自動的に設定メニューに入る前の状態に戻ります。設定を途中でやめたいときには、もう1度設定ボタンを押します。
- ブザーの音量と読み上げ音声の音量は一定です。

希望の時間に電源を切る
—パワーオートオフ機能

ラジオの電源の消し忘れによる電池のむだな消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる時間を設定することができます(30分、60分、90分、120分)。また、この機能を解除することもできます。お買い上げ時には、「90分」に設定されています。

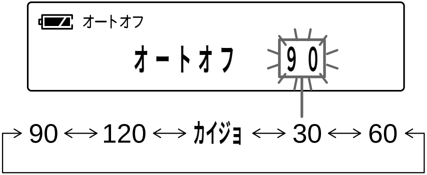
1 設定ボタンを押す。

2 ジョグレバーを動かして「オートオフセッテイ」を選び、ジョグレバーを押す。



3 ジョグレバーを動かして設定したい時間を選び、ジョグレバーを押す。

ジョグレバーを動かすと設定時間が次のように変わります。



パワーオートオフ機能を解除する

手順3で「カイジョ」を選びます。
「オートオフ」の表示は消えます。

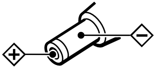
使用上のご注意

充電について

- 付属の充電スタンドは本機専用です。他機の充電はできません。
- 充電には必ず付属のACパワーアダプターをお使いください。
- はじめて充電するときや、長時間使用しなかった後では、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か放電を繰り返すと通常の状態に戻ります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。

ACパワーアダプターについて

本機には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。



極性統一形プラグ

温度上昇について

本機を充電中または、長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

長い間使用しないときは

主電源スイッチを先の細いもので「切」にしてください。時計や記憶させた周波数などは、お買い上げ時の設定に戻ります。再度ご使用になるときは、主電源スイッチを「入」にしてください。

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く。
- 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）。
- 風呂場など、湿気が多いところ。
- ほこりが多いところ。
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  ー温度が非常に高いところ（40℃以上）。
  ー直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  ー風呂場など湿気の多いところ。
  ー窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
  ーほこりの多いところ。
- ラジオ内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。
- このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。
  このときは、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- ステレオイヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師または、お客様ご相談センターに相談してください。

ステレオイヤーレシーバーで聞くときのご注意

- ステレオイヤーレシーバーは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
  雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、いつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、お買い上げ店、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

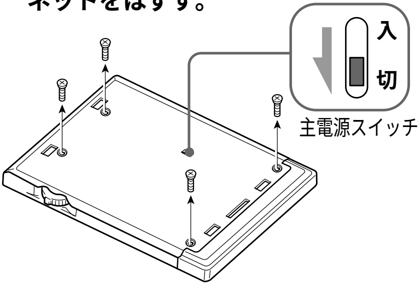
本機を廃棄するときのご注意

環境保護のため、充電用の電池を取り出してください。

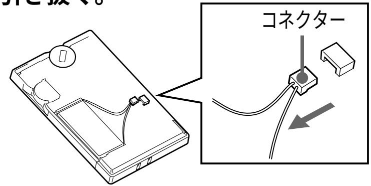
⚠警告	**本機を廃棄するとき以外は絶対にキャビネットを開けないでください。**

1 **主電源スイッチを「切」にする。**

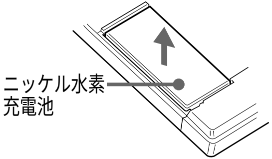
2 **⊕の精密ドライバーでラジオ本体裏面のネジ4か所をはずし、裏面のキャビネットをはずす。**



3 **基板からコネクターを矢印の方向に引き抜く。**



4 **電池をはずす。**



5 **コネクター部分に、セロハンテープなどの絶縁テープを貼る。**

次ページへつづく

⚠注意

- 電池と基板をつないだままにしておくと電気が流れて危険です。基板からコネクターを必ずはずしてください。はずすときは、まわりの部品の内部に触れないようにご注意ください。
- 充電式電池は完全に消耗した状態を確認してから取りはずしてください。

充電式電池の廃棄について

このマークはニッケル水素電池のリサイクルマークです。

Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会ホームページ http://www.baj.or.jp/を参照してください。

お手入れについて

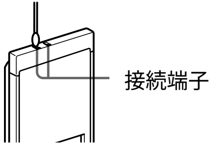
本機のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので、使わないでください。

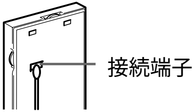
接続端子のお手入れについて

定期的にラジオ本体とイヤーレシーバーカートリッジ、充電スタンドの各接続端子を綿棒や柔らかい布などで、きれいにしてください。

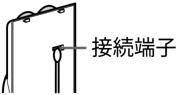
ラジオ本体
下部



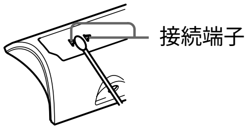
ラジオ本体
裏面



イヤーレシーバー
カートリッジ



充電スタンド



故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう1度チェックしてみてください。

症状	原因	処置
ラジオの音がまったく聞こえない	電池残量がない。	充電式電池を充電する。
	音量が最小になっている。	音量つまみで音量を調節する。
	主電源スイッチが「切」になっている。	「入」にする。（12ページ）
	イヤーレシーバーカートリッジ接続端子が汚れている。	接続端子を綿棒または柔らかい布できれいに拭いてください。
雑音が多く、音が悪い	電池残量がない。	充電式電池を充電する。
	電波が弱い。	建物や乗り物の中では電波が弱いので、なるべく窓側でお聞きください。
	ステレオイヤーレシーバーを引き出していない（TV、FM受信時）。	ステレオイヤーレシーバーを白色のエンドマークが見えるまで引き出す。（TV、FM受信時はステレオイヤーレシーバーがアンテナになります。）

症状	原因	処置
ステレオにならない	ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。	——
	ステレオ／モノラル設定が「モノラル」になっている。	「ステレオ」にする（41ページ）。
ジョグレバーを押しても、聞きたい放送局が受信できない	正しいプリセット番号を選択していない。	聞きたい放送局のプリセット番号を選択する。
	正しい地域を選んでいない。	設定メニューで「エリアセッテイ」を選んで、現在ラジオを使っている地域を設定する（32ページ）。 それでも受信できない場合は設定メニューで「サテライトセッテイ」を選んで、サテライト局を設定する。 地域によって記憶されている放送局は異なります。付属の「周波数一覧表」をご覧ください。
表示窓の文字や記号が見づらい	極端に暑い場所や寒い場所で使っている。	温度が高いところ（40°C以上）や低いところ（0°C以下）では表示が見にくくなることがあります。常温になればもとに戻ります。
マイメモリー選局ができない	「センキョクモード」が「マイ」になっていない。	もう1度マイメモリー選局を設定する（36ページ）。

症状	原因	処置
ラジオの電源が突然切れた	電池残量がない。	充電式電池を充電する。
	パワーオートオフ機能が働いている。電源を入れてから設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れるようになっています（46ページ）。	パワーオートオフ機能を解除する（46ページ）。
充電スタンドのCHARGEランプが点灯しない	ラジオ本体または充電スタンドの端子が汚れている。	端子をきれいにクリーニングする。
	ラジオ本体が正しい向きで充電スタンドに置かれていない。	正しい向きで充電スタンドに置いてください（14ページ）。
	主電源スイッチが「切」になっている。	「入」にする（12ページ）。
電池の持続時間が短い	0°C以下の環境で使用している。	電池の特性によるもので故障ではありません。
	充電式電池の交換が必要	お買い上げ店、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

上記以外で動作が正常でないときは、電源を切り、主電源スイッチを「切」にして再度「入」にしてください（時計や記憶させた周波数などは、お買い上げ時の設定になりますので、必要に応じて設定し直してください）。それでもまだ正しく動かないときは、お買い上げ店、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご連絡ください。

主な仕様

受信周波数	TV：1～12ch FM：76～108 MHz AM：531～1,710 kHz
出力端子	🎧端子（Φ 3.5 mm ステレオミニジャック）1個
実用最大出力	3 mW +3 mW（JEITA*）
電源	DC 1.2 V、ニッケル水素充電式電池（Ni-MH）
パワーオートオフ機能	約30分、60分、90分、120分、解除の5段階
最大外形寸法	ラジオ本体： 約54 × 85.6 × 8.3 mm （突起部含まず） 約55 × 86.2 × 8.3 mm （突起部含む） イヤーレシーバーカートリッジ装着時： 約54 × 85.6 × 15.6 mm （突起部含まず） 約55 × 86.2 × 17.0 mm （突起部含む） （幅/高さ/奥行）（JEITA）
質量	ラジオ本体：約51 g イヤーレシーバーカートリッジ装着時：82 g
付属品	イヤーレシーバーカートリッジ（1） 充電スタンド（1） ACパワーアダプター（1） キャリングケース（1） 取扱説明書（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1） 周波数一覧表（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、お客様ご相談センターまたは添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル ········ 0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は　03-5448-3311

（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ···················· 0466-31-2595

受付時間 ：月〜金 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan